

# 信任投票の5人、全員当選



速報版

錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2018

279号  
生徒会選挙特別号

これからの錦城の  
担い手を決める  
生徒会選挙が  
行われました

## 生徒会選挙開かれる

11月7日(水)、6時間目のLHRの時間に第一体育館で行われた立会演説会・生徒会選挙。今回は決選投票がなく、すべての役職が信任投票となり、全員が信任された。また、初の試みとして実際に選挙に使われている投票箱を小平市から借り、生徒はその投票箱に投票した。



全校生徒の視線が集まる中、熱く公約を語る立候補者

### 【今回の立候補者】

#### ①生徒会長候補

松本千冬くん(2J)  
信任票数：1207票

#### ②生徒会副会長候補

橋颯太朗くん(1I)  
信任票数：1352票

#### ③監査委員長候補

勝木直人くん(2F)  
信任票数：1336票

#### ④監査副委員長候補

岡崎翔也くん(1J)  
信任票数：1359票

#### ⑤錦城祭実行委員長候補

森彩葉さん(1M)  
信任票数：1339票  
無効票数：7票

### 候補者語る錦城の未来像

①「覚えて帰って欲しい」とは1つ。錦城生はバカだということですが」と強烈な発言

で一気に生徒の関心を集めた生徒会長候補の松本くん。多くの生徒がゴミの分別を出来ていないと松本くんは指摘。分別がままならない中、意図的に寄せられるペットボトル自販機の要望に添えても、問題が悪化するだけだと話す。さらに、生徒だけでなく先生までもが分別が出来ないと、クラスのゴミ袋を見せ方強く訴えた。ルールを守ることで、より過ごしやすいう学校を実現できると呼びかけた。



本物の投票箱に投票

② 生徒会副会長候補の橋くんは誇りある学校づくり、生徒とともに作る生徒会を公約に掲げた。最近、登下校時のマナーについて近隣の方からクレームが入ることが多い。そんな状況下において錦城生にマナーを再認識させるよう、啓発していくと話した。

「監査委員会の仕事の効率化を行う」と宣言。予算編成を行う監査委員会の仕事運営を効率的にし、生徒の要望を受け入れるためにも、委員長と部長に正確な書類を期日までに出すことを強く要求した。

④ 緊張した面持ちで演説した監査副委員長候補の岡崎くん。演説では、中学時代の生徒会活動を糧に「生徒達が不安を抱かず、安心できる高校生を送れるよう努めます」と話した。

「す」と力強く語った。2つ目は新企画の導入。アンケートを実施することで新しい意見を取り入れたいという。「主催者も来場者も楽しめる錦城祭にしたいです」と締めくくった。



より若者に選挙への理解を深めて欲しい

⑤ 今年本部で運営の楽しさを感じたことから錦城祭実行委員長に立候補した森さんは「次は委員長として運営に関わりたい」と思ったそうだ。1つ目の公約は錦城祭のルールの見直し。「ダメならダメな理由をはっきりと言えるようにし、変更可能なルールはどんどん改善していきたいです」と抱負を口にした。

③ 監査委員長候補の勝木くんは演説の初めに、当選した責任を持って生徒会副会長を務めたいと語った。

また、現在生徒会が設置している意見箱はまだ改良の余地があると橋くん。「生徒の声とともに進む」をモットーに、責任を持って生徒会副会長を務めたいと語った。

生徒会選挙後に小嶋さんに話を聞くと、普段の仕事を選挙をより公正に進めることと、より活発な選挙にするため啓発活動をする」と説明。今回の貸し出しも、若者への啓発の一環として引き受けたいと。錦城生に「自分の意見を持って選挙に行ってください」とメッセージを送った。

### 投票箱を貸し出した 小平市選挙管理委員の話

今回の生徒会選挙では、小平市役所から実際の投票箱を借りて投票を行った。投票箱を貸し出した小平市選挙管理

委員事務局の小嶋崇史さんは、候補者の演説後に壇上で若い人の投票率の低さを挙げ「最近ではインターネットなどを通じて、簡単に選挙の候補者などのことについて調べることが出来ます。より政治や選挙に理解を深め、ぜひ実際の選挙にも投票に行ってください」と語る。